

2026年度(令和8年度)  
学生募集案内

# 福島県立医科大学大学院 看護学研究科

## 募集人員

博士前期課程(看護学専攻)

【募集人員】15名

- 研究コース・CNSコース——10名
- 助産師コース——5名

博士後期課程(看護学専攻)

【募集人員】2名

福島県立医科大学看護学部



公立大学法人

福島県立医科大学

# 研究科長からのメッセージ

看護学研究科長 坂本 祐子

看護学研究科は、高度な看護実践能力を有する人材の輩出のみならず、看護実践の質の向上を図る研究能力を有する看護教育・研究者と、研究指導力を発揮して看護実践の変革を牽引できる看護実践指導者の育成を図り人々の健康と豊かな暮らしの実現に貢献したいと考えています。

博士前期課程では、看護の実践・研究・教育の場で活躍できる高度な専門知識、技術、実践能力を有する人材の育成を行い、看護学の創造と発展に貢献することを目指しております。8領域3コース（研究コース、専門看護師コース、助産師コース）からなり、開講科目は領域専門科目に加え、必修共通科目・選択共通科目を配置し、多様な修学ニーズに応じた領域・コース選択と科目履修ができるよう整備しています。



博士後期課程では、看護実践の質の向上を図る看護教育・研究者と、研究指導力を発揮して看護実践の変革を牽引できる看護実践指導者の育成を目指し、「実践開発看護学」1領域を設置しています。

就労と修学を両立できるように、博士前期・後期課程ともに長期履修制度や夜間・週末開講、web会議システムを活用した研究指導を行っています。毎年7月と10月には入試説明会を開催していますので、お気軽にご参加ください。看護学研究科でともに学び、ともに未来の看護を創造していきましょう。

## 〈博士前期課程〉教育目標

- 1 高度な専門知識・技術と卓越した実践能力を持つ看護専門職者を育成する。
- 2 看護援助方法論の開発と研究を担う人材を育成する。
- 3 看護職のキャリア開発プログラムを構築できる人材を育成する。

研究コース・CNSコースにおいて、所定の期間在学し、修了要件となる単位を取得するとともに、学位論文審査および最終試験に合格し、下記の条件を満たす者に学位(修士(看護学))を授与します。

- 研究コース  
CNSコース
- 1 専門分野における専門的知識、技術を修得している
  - 2 看護学の学問の発展に寄与する実践・研究・教育に取り組むための基礎的能力を修得している
  - 3 高い倫理観を有した専門職者として専門分野の課題を探究できる能力を有している
  - 4 看護実践・研究・教育の場において地域に貢献できる能力を修得している

助産師コースにおいて、所定の期間在学し、修了要件となる単位を取得するとともに、学位論文審査および最終試験に合格し、下記の条件を満たす者に学位(修士(助産学))を授与します。

- 助産師コース
- 1 高い倫理観を有した専門職者として助産学分野の課題を探究できる能力を有している
  - 2 科学的根拠に基づいて助産ケアを提供できる専門知識、技術を修得している
  - 3 女性の健康の保持増進のために包括的な支援ができる能力を修得している
  - 4 災害時に関係職種と連携・協働して母子保健活動を実践できる能力を修得している

博士前期課程では、専門分野の高度な実践者、看護学研究者、看護学教育者を育成します。

- 研究コース  
CNSコース  
助産師コース
- 1 専門性の高い看護職の基盤となる理論・知識が修得できる
  - 2 専門領域における高度な知識と実践能力が修得できる
  - 3 専門領域と関連する内容を学び、社会の要請に応え学問的成果をあげる能力を修得できる

本大学院看護学研究科では、高い倫理観と豊かな人間性を備え、専門性の高い看護学および助産学の修得を志向し、熱意を持って主体的に学んでいこうとする人を求めています。

【求める学生像】

- 研究コース  
CNSコース
- 1 看護学に関する専門的知識と技術を修得し、その発展に寄与する人
  - 2 専門看護師として高度な知識と卓越した実践能力を修得しようとする人
  - 3 保健・医療・福祉領域で多様な人と協働して地域貢献に尽力しようとする人

- 助産師コース
- 1 看護専門職としての豊かな人間性と高い倫理観を有し、看護学に関する専門的知識を修得している人
  - 2 助産学に関する高度な知識と技術を修得し、助産学の発展に寄与する人
  - 3 保健・医療・福祉領域において多様な人と協働し、地域貢献に尽力しようとする人
  - 4 福島県の女性の健康と母子保健の向上に貢献する意志を持つ人

## 〈博士後期課程〉教育目標

- 1 看護系大学等の教育・研究機関において、複雑多様な人々のニーズに応えるケアやケアシステム開発の方法論を考究し、その体系化と発展に寄与する研究を自立して行い、その研究成果を看護実践に還元できる研究者で、その研究成果や研究指導力を以って質の高い看護学教育を展開できる看護教育・研究者を育成する。
- 2 病院や施設等の看護実践の場で、研究活動を自立して行うとともに、組織における研究活動や看護系大学等教育・研究機関との共同研究を推進し、その成果を看護実践に還元することを牽引できる指導者(看護実践指導者)を育成する。

- 「学位授与の方針」
- 1 人々のニーズに応えるケアおよびケアシステム開発を志向した新規性の高い独創的な看護研究の基盤となる知識や方法論を修得している。
  - 2 実践開発看護学の体系化と発展に寄与する看護研究を自立して計画、遂行し、看護実践に還元できる研究力と研究指導力を修得している。
  - 3 高度な看護実践力と研究力・研究指導力を基盤に、看護教育・研究者、あるいは看護実践指導者として、研究活動の組織的な取り組みを推進し、看護実践に還元、その変革を指導・牽引できる能力を修得している。

- 「カリキュラムポリシー」
- 1 人々のニーズに応えるケアおよびケアシステム開発の看護実践上の意義、その方法論について学修する。
  - 2 看護実践上の課題を明確にし、課題解決のためのケアおよびケアシステム開発につながる研究課題および方法論を探究する。
  - 3 看護現象と看護理論を吟味し、科学的な知見を理論へと発展させ、看護実践に活用できる方法を学修する。
  - 4 看護実践上の課題の明確化、研究課題および研究方法論の構築を多角的な視点から深化させる。
  - 5 人々のニーズに応える新規性のある独創的なケアおよびケアシステムを考究し、看護実践の場に適用させ、その成果の検証を通して、地域の保健医療福祉の課題解決ならびに人々のQOLの向上に寄与できる研究を学位論文として産出する。

- 「入学受け入れ方針」
- 1 社会のニーズに応じたケアおよびケアシステム開発に関心を持ち、博士後期課程における学修の基盤となる看護学の専門知識を有する人
  - 2 基礎的な研究能力を有し、自ら課題解決に取り組む意欲を有する人
  - 3 国内外の文献を読み解く語学力と読解力を有し、グローバルな視点から課題を分析する能力を有する人
  - 4 看護教育・研究者、看護実践指導者としてコミュニケーション能力、論理的思考力を有する人
  - 5 博士後期課程修了後、看護教育・研究者、看護実践指導者として保健医療福祉の変革を牽引する意思のある人

# 博士前期課程

博士前期課程は、看護の質の向上を目的とし、高度な専門知識・技術に基づいた質の高い看護の実践、援助方法や臨床看護研究方法論の開発、さらに看護職が専門職としてのキャリアを伸ばしていくことができるような看護教育方法の開発を通して、看護学の構築に貢献することを目指します。

## 博士前期課程の専門領域

博士前期課程は、8領域3コース：研究コース、CNSコース（がん看護学・精神看護学・小児看護学）、助産師コースからなり、開講科目は領域専門科目に加え、必修共通科目・選択共通科目を配置し、多様な修学ニーズに応じた領域・コース選択と科目履修ができます。

### 基礎看護学

研究コース

看護の対象となる人間の生命活動、看護実践とその教育等、あらゆる看護学領域に共通する一般性・普遍性を目的や対象の特徴に即した研究方法を修得しつつ追究します。

### がん看護学

研究コース・CNSコース

がんと診断された時から終末期まで、さまざまな場所で療養しているがん体験者とその家族が抱える健康問題を解決するための効果的な看護援助方法論を開発します。

### 成人看護学

研究コース

疾患や外傷などにより生体侵襲を受けた人やその家族の発達課題・生活過程を踏まえ、さまざまな健康レベルや病期に応じた看護援助方法を開発します。

### 老年看護学

研究コース

高齢者の希望や価値観は、千差万別です。高齢者が“何を大切に日々暮らしているかを尊び、高齢者とその家族が”住み慣れた地域”で“その人らしい生活を営む”ことを実現・支援するための看護援助方法を開発します。



### 精神看護学

研究コース・CNSコース

精神の健康問題を持つ人が、自立したその人らしい生活を確立していくために必要な看護援助方法を開発します。

### 母性看護学・助産学

研究コース・助産師コース

マタニティサイクルにある女性とその家族およびライフサイクル全般に関わる女性の健康を支援するための看護援助方法を開発します。助産師コースでは助産師国家試験受験資格を取得できます。

### 小児看護学

研究コース・CNSコース

育児期にある家族の健康生活を支援するための援助方法および健康問題を持つ子どもとその家族のQOLの向上に必要な看護援助方法を開発します。

### 地域看護学

研究コース

様々な健康水準の個人や集団を対象として、行政・企業・訪問看護等における健康課題に応じた看護ケアシステムおよび看護援助方法を開発します。

## 修了生の言葉



2022年度  
地域看護学修了  
高崎千聡さん

大学院の講義では、様々な経験を持つ院生とのディスカッションが中心であり、これまでの経験をじっくりと振り返り、自身の看護観を見つめなおすことができました。  
修士論文を作り上げるのは時に苦しいこともありましたが、先生方の親身で熱心なご指導と院生同士での支え合いにより成し遂げることができました。  
博士前期課程修了後は、本学看護学部の教員として勤務しています。大学院での学びをもとに、学生と共に看護を探究し続ける姿勢を大切にしていきたいと思っています。



2015年度  
精神看護学修了  
佐藤このみさん

大学卒業後は救急看護を中心に臨床経験を積んでいましたが、せん妄の患者さんにもっと寄り添うケアをしたいと思い、大学院へ入学しました。大学院では、多くの講義が学生のプレゼンテーションを中心に展開されます。  
私は精神科病院での経験がない状態で精神看護領域を専攻しましたが、私の経験も大切に受け取りながら、ディスカッションを通して学びを深めてくださった教員の皆様や先輩、学友には感謝しています。  
現在は総合病院でリエゾンナーズとして活動していますが、大学院で学んだことで、看護の幅は格段に広がり、患者さんの力になれることも多くなったと実感しています。

## 開講科目



.....【共通必修科目】.....

看護理論

看護研究

看護倫理

看護研究方法論

.....【看護専門科目】.....

基礎看護学

がん看護学

成人看護学

老年看護学

精神看護学

母性看護学・助産学

小児看護学

地域看護学

各領域の講義・演習・実習

.....【共通選択専門科目】.....

- フィジカルアセスメント
- 病態生理学
- 臨床薬理学
- 健康情報学
- 看護教育論

- コンサルテーションの理論と実際
- リハビリテーション看護論
- 看護マネジメント論
- ストレスと心身症

- 看護と法
- 看護政策論
- 家族面接論
- 現代家族論

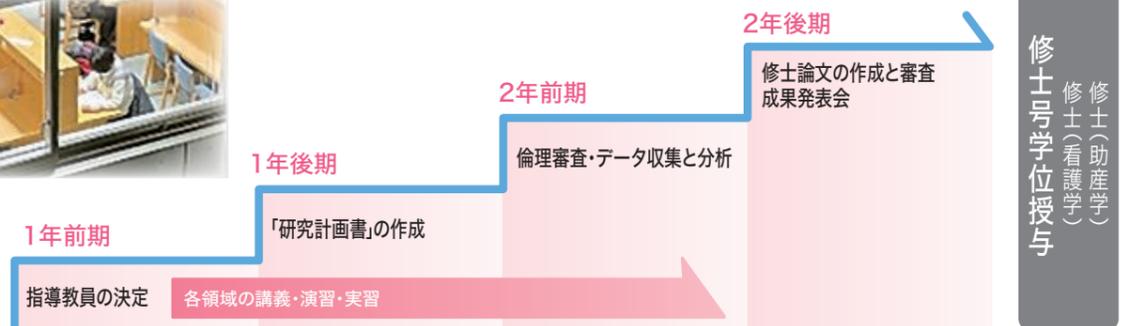
.....【研究指導科目】.....

看護特別研究

看護課題研究

※開講科目は変更になる場合があります。

## 博士前期課程における研究活動の流れ



## 修了生の進路

2015年度～2024年度(過去10年)修了者の進路状況							
修了生	就職地		職種内訳				
	県内	県外	看護師	助産師	保健師	教員	その他
総数	59名	3名	41名	2名	3名	14名	2名
62名	59名	3名	41名	2名	3名	14名	2名



開設時からの  
CNS資格取得者数  
19名

博士後期課程では、複雑化・多様化する健康問題の解決に資する独創的で質の高い看護実践を開発するとともに、住み慣れた地域で生活したいと願う住民や保健医療福祉資源の偏在を抱える地域の健康問題解決をめざし、多職種連携も含む継続した看護実践のシステム形成を図る能力の修得を目指します。

## 実践開発看護学領域

博士後期課程での「実践開発看護学」とは、人々のニーズに応える新規性の高い独創的なケアと、それらを適時適切に人々に届けるケアシステムを創造し、その有効性を検証し、応用・発展させる方法論について教育・研究することを目的とする看護学です。

## 開講科目

【専門科目 (8単位)】

ケア開発看護学特講 (2単位)

実践開発看護学演習 (2単位)

実践開発看護学特別研究 (6単位)

ケアシステム開発看護学特講 (2単位)

看護研究特講 (2単位)

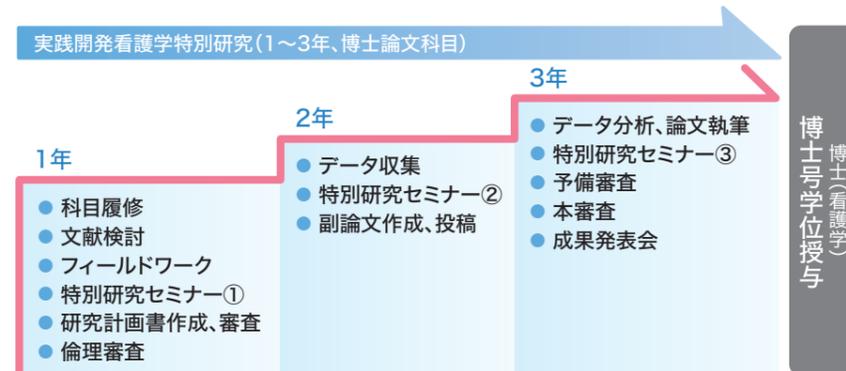
【選択科目 (2単位以上)】

看護人材育成論特講 (2単位)

看護心理学特講 (2単位)

看護病態学特講 (2単位)

## 博士後期課程での研究活動の流れ



## 実践開発看護学 在学生の言葉

佐藤健斗さん

私は現在、手術室看護師として働きつつ博士後期課程に在籍しており、安心・安全な手術に寄与できる周術期の看護ケアを探究しています。仕事と学業の両立は大変なことも多いですが、私にとってかけがえのない時間を過ごすことができている。特に、フィールドワークで初めてハワイの病院見学に行ったことは、とても刺激的で良い経験となりました。

日々進歩する医療に置いていかれないように一緒に看護を探究していきましょう！

大内美奈さん

助産師として病院で働く中で助産師教育について学びたいと思い、修士課程で新卒助産師の体験に関する研究を行いました。その後、看護学・助産学の発展に寄与する研究を自立して行い、研究成果を看護実践や助産実践に還元できる力を身につけたいと考え博士後期課程に進学しました。

今後は看護教員として勤務しながら助産師自身の持つ力や特徴、状況を踏まえた新卒教育について深め、新規性が高く臨床現場で活用できる研究に取り組みたいと考えています。

基礎看護学 (基礎看護学)  
Fundamentals of Clinical Nursing Practice  
認識論を基盤とした看護職の思考過程およびその発達・育成に関する質的研究

黒田 るみ 教授 \*  
Rumi KURODA Professor



基礎看護学 (看護生命科学)  
Life Sciences and Nursing  
口腔・唾液腺、放射線生物学にまつわる生命科学研究とその臨床応用に関する研究

関亦 明子 教授 \*  
Akiko SEKIMATA Professor



成人看護学  
Adult Nursing  
クリティカルケア領域での理論的根拠に基づいた看護実践の質を高めるケアの探求

菅野 久美 教授 \*  
Kumi KANNO Professor



老年看護学  
Geriatric Nursing  
老年期にある人が治療や療養の場でそのらしく生活することを支援する援助方法の探求

坂本 祐子 教授 \*  
Yuko SAKAMOTO Professor



母性看護学・助産学  
Midwifery and Maternal Nursing  
女性の生涯を通じた性と生殖の健康や周産期にある家族への支援、助産実践に関する課題

山口 咲奈枝 教授 \*  
Sanae YAMAGUCHI Professor



小児看護学  
Pediatric Nursing  
子どもへの倫理的看護実践、子どもからAYA世代への成人移行支援の探求

古橋 知子 准教授  
Tomoko FURUHASHI Associate Professor



地域看護学  
Community Health Nursing  
訪問看護ステーションの運営、訪問看護師の教育支援、在宅における高齢者虐待など

難波 貴代 教授  
Takayo NAMBA Professor



基礎看護学 (基礎看護学)  
Fundamentals of Clinical Nursing Practice  
慢性病者を対象に医療者と患者との関係に着目した看護実践の効果の見える化の探求

丸山 育子 准教授  
Ikuko MARUYAMA Associate Professor



がん看護学  
Oncology Nursing  
がんの経過全般にわたり患者やその家族が抱える課題を解決するための看護実践と研究

佐藤菜保子 教授 \*  
Naoko SATO Professor



成人看護学  
Adult Nursing  
手術や薬物療法などの侵襲を受ける対象者の健康問題の予防や改善のための看護実践の探求

片桐 和子 准教授 \*  
Kazuko KATAGIRI Associate Professor



精神看護学  
Mental health Nursing  
精神疾患患者、精神障害者およびその家族に対する看護実践に関する研究

大川 貴子 准教授  
Takako OHKAWA Associate Professor



小児看護学  
Pediatric Nursing  
子どもと家族を取り巻く環境、早産児とその家族の看護および看護職への支援

和田 久美子 教授  
Kumiko WADA Professor



地域看護学  
Community Health Nursing  
地域の健康課題解決のための看護実践および地域看護活動を担う人材育成に関する研究

高橋 香子 教授 \*  
Kouko TAKAHASHI Professor



\*印は博士前期課程および博士後期課程「実践開発看護学」の研究指導も担当します。

各教員の連絡先については、学生募集要項を参照ください。

# 今年度の出願資格認定申請・出願期間

## 学内推薦選抜試験(助産師コースのみ)

令和7年8月23日(土)

●出願期間：令和7年7月22日(火)～7月29日(火)

## 秋期選抜試験

令和7年10月18日(土)

●出願資格認定申請期間：令和7年8月29日(金)～9月5日(金)

●出願期間：令和7年9月24日(水)～10月1日(水)

## 冬期選抜試験

令和8年1月24日(土)

●出願資格認定申請期間：令和7年11月21日(金)～11月28日(金)

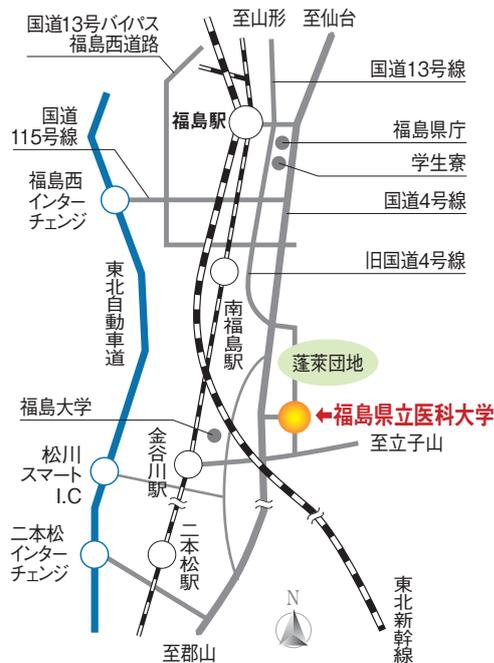
●出願期間：令和8年1月5日(月)～1月13日(火)

※秋期選抜試験において定員を満たした場合は、冬期選抜試験は実施しないので、出願前に電話等で確認してください。

## 交通案内

JR福島駅東口バスターミナルから  
福島交通バス

「バイパス経由医大」行き乗車、  
「医科大学前」下車徒歩1分  
(所要時間約30分)



## 博士前期課程・博士後期課程 共通

### 働きながら、育児・介護をしながら就学する方の支援制度

長期履修制

標準修業年限を超えて一定の期間で計画的に教育課程を履修できる「長期履修制度」を設けています。この制度は、2年間の課程(博士前期課程)を3年で、3年間の課程(博士後期課程)を4～5年で履修することが出来る制度です。授業料は、2年分又は3年分を予定在学期間で分割し納めることとなります。 ※CNSコースも対象となります。助産師コースは対象外です。

教育方法の特例

科目開講については、特例措置の時間帯(18時～21時)を設け、就学時間外でも履修が可能のように配慮します。研究指導は、主・副指導教員と相談しながら、平日の夜間や土曜日等の特定時間の利用や、遠隔講義システムの活用などを含め、計画的に就学できるよう支援します。

### 研究生・科目等履修生について

本学では、年2回(4月入学・10月入学)研究生及び科目等履修生の募集を行っています。

## お問い合わせ



公立大学法人

福島県立医科大学

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地 福島県立医科大学

事務局 教育研修支援課看護学部教務係(大学院看護学研究科担当)

Tel:024-547-1806(直通) Fax:024-547-1984

E-mail:kyoumu2@fmu.ac.jp

大学ホームページアドレス <https://www.fmu.ac.jp/>